



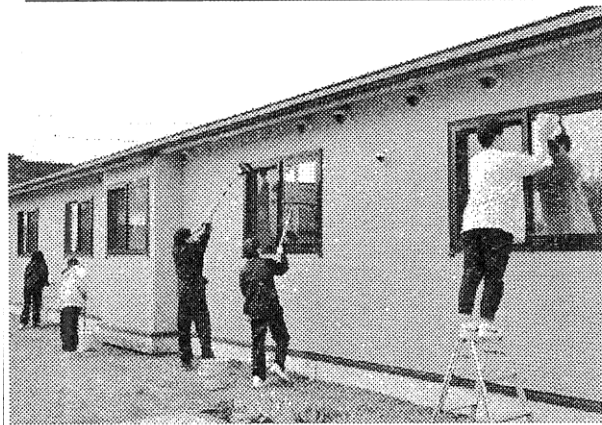
報道で紹介された美瑛高校 04

◆令和7年5月24日(R7. 5. 31 びえい新聞)

南町高齢者住宅で清掃活動に参加し、外窓ふきを一生懸命行いました。美瑛高校からは5人の生徒が参加しました。



支え合いの心で清掃活動。
美瑛町ボランティアセンター運営委員会による「ボランティア清掃活動」が、5月24日に西町・南町高齢者住宅で行われた。活動には、美瑛高校、美瑛慈光会、NPO法人びえいくらしの助けあい、デイセンターすずらん就労継続支援B型事業所「満天の丘輝星」、町社会福祉協議会といった団体のほか個人ボランティアも参加。21人ずつ西町・南町の高齢者住宅で清掃活動に取り組んだ。西町高齢者住宅では、参加者を前に同運営委員会の石崎克利委員長が「ケガなく楽しみながらボランティアを」とあいさつ。参加者は協力して、外窓や内窓の拭き掃除、



高年齢者住宅での清掃活動は、ボランティアの力を地域の貢献活動に役立てていこうと毎年実施。町ボランティアセンター運営委員会は、個人ボランティアの登録も随時、呼びかけており、この日も個人参加のボランティアが参加し活動。同運営委員会では、「無理なく、できる時間にする時間だけボランティアを」と登録を呼びかけている。災害復旧でも役割が高まっているボランティア。活動や登録に関する問合せは☎0166-9210733(町社会福祉協議会内)まで。

ボランティアセンター運営委員会 町内高齢者住宅で清掃活動

施設外壁などのクモの巣はらい、玄関口の清掃などを行

った。美瑛高校でも生徒5人と先生が南町高齢者住宅で活動。モップなどを手に窓の清掃に勤しんだ。

高年齢者住宅での清掃活動は、

ボランティアの力を地域の貢献活動に役立てていこうと毎年実施。町ボランティアセ

ンター運営委員会は、個人

ボランティアの登録も随時、

呼びかけており、この日も個

人参加のボランティアが参加

し活動。同運営委員会では、

「無理なく、できる時間にて

きる時間だけボランティアを」

と登録を呼びかけている。災

害復旧でも役割が高まってい

るボランティア。活動や登録

に関する問合せは☎0166

-9210733(町社会福祉協

議会内)まで。